

## 6 市場事業

### (1) 事業数

平成27年度における市場事業の事業数は、下記の7事業9施設で、いずれも法非適用事業である。

市場種別	団体名	市場名
中央卸売市場 (1事業2施設)	仙台市	仙台市中央卸売市場本場(青果・水産物・花き) 仙台市中央卸売市場食肉市場
地方卸売市場 (6事業7施設)	石巻市	石巻市水産物地方卸売市場石巻売場 石巻市水産物地方卸売市場牡鹿売場
	塩竈市	地方卸売市場塩竈市魚市場
	気仙沼市	地方卸売市場気仙沼市魚市場
	大河原町	大河原町地方卸売市場(青果)
	女川町	女川町地方卸売市場(水産物)
	南三陸町	南三陸町地方卸売市場(水産物)

### (2) 施設の利用状況

年間取扱高は56万304tで、前年度に比べ1万4,277t(2.5%)減少している。その内訳は、青果物が19万1,610t、水産物が34万6,984t、食肉・鶏卵・その他が2万1,710tとなっている。前年度に比べ水産物が2,253t(0.7%)増加し、青果物が1万6,388t(7.9%)、食肉・鶏卵・その他が142t(0.6%)それぞれ減少している。

年間売上高は2,204億56百万円で、前年度に比べ94億78百万円(4.5%)増加している。その内訳は、青果物が486億18百万円、水産物が1,398億93百万円、食肉・鶏卵・その他が319億45百万円で、前年度に比べ水産物が80億32百万円(6.1%)、食肉・鶏卵・その他が18億66百万円(6.2%)それぞれ増加し、青果物が4億20百万円(0.9%)減少している。

また、市場関係業者数は卸売業者15社、仲卸業者45社、売買参加人が1,532人、関連事業者が41人となっており、前年度に比べ売買参加人が91人減少している。

第1表 利用状況の推移

年 度		23		24		25		26		27		対前年度比較	
		23	構成比 (%)	24	構成比 (%)	25	構成比 (%)	26	構成比 (%)	27	構成比 (%)	b - a	(c/a)
項 目								a		b		c × 100(%)	
		取	青 果 物	207,589	52.9	207,737	45.6	214,392	45.6	207,998	36.2	191,610	34.2
扱	水 産 物	168,588	42.9	223,957	49.2	233,649	49.7	344,731	60.0	346,984	61.9	2,253	0.7
高	食肉・鶏卵・その他	16,426	4.2	23,416	5.1	22,502	4.8	21,852	3.8	21,710	3.9	▲142	▲0.6
(t)	計	392,603	100.0	455,110	100.0	470,543	100.0	574,581	100.0	560,304	100.0	▲14,277	▲2.5
売	青 果 物	47,756	29.8	46,820	26.2	49,521	26.3	49,038	23.2	48,618	22.1	▲420	▲0.9
上	水 産 物	93,054	58.1	107,202	59.9	111,617	59.3	131,861	62.5	139,893	63.5	8,032	6.1
高	食肉・鶏卵・その他	19,407	12.1	24,875	13.9	27,178	14.4	30,079	14.3	31,945	14.5	1,866	6.2
(百万円)	計	160,217	100.0	178,897	100.0	188,316	100.0	210,978	100.0	220,456	100.0	9,478	4.5
業 者 数	卸 売 業 者 (社)	16	—	15	—	15	—	15	—	15	—	0	0.0
	仲 卸 売 業 者 (社)	46	—	46	—	46	—	45	—	45	—	0	0.0
	売 買 参 加 人 (人)	1,810	—	1,685	—	1,645	—	1,623	—	1,532	—	▲91	▲5.6
	関 連 事 業 者 (人)	45	—	47	—	47	—	40	—	41	—	1	2.5

(注) 青果物は「野菜」+「果実」、水産物は「水産物」、食肉・鶏卵・その他は「肉類・鳥類・卵類」+「その他」をいう。

### (3) 経営状況

市場事業の収益的収支における総収益は29億50百万円で、前年度に比べ1億71百万円(6.2%)増加しており、総費用は23億23百万円で、前年度に比べ2億円(9.4%)増加している。この結果、収支差引では6億27百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が29百万円(4.5%)減少している。

また、資本的収支における収入は20億5百万円で、前年度に比べ14億49百万円(42.0%)減少しており、支出は44億56百万円で、前年度に比べ21億88百万円(96.5%)増加している。この結果、収支差引では24億51百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が36億37百万円減少している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は18億25百万円の赤字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は7百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が3百万円(59.5%)増加している。

なお、収益的収支比率は89.9%で、前年度に比べ1.5ポイント上昇している。

第2表 市場事業の収支状況の推移

(単位:百万円、%、人)

項 目		年 度					対前年度比較		
		23	24	25	26	27	b - a	(c/a)	
					a	b	c	×100	
収 益 的 入 収 支	総 収 益 A	2,331	2,586	2,523	2,779	2,950	171	6.2	
	営 業 収 益	919	1,574	1,686	1,713	1,743	31	1.8	
	う	料 金 収 入	904	1,560	1,672	1,700	1,732	32	1.9
		受 託 工 事 収 益	0	0	0	0	0	0	—
	ち	そ の 他	15	15	13	13	11	▲2	▲12.2
	営 業 外 収 益	1,411	1,012	837	1,066	1,206	140	13.2	
	う ち 他 会 計 繰 入 金	1,053	535	300	643	636	▲7	▲1.1	
	総 費 用 B	1,967	1,956	1,895	2,122	2,323	200	9.4	
	営 業 費 用	1,634	1,657	1,639	1,763	2,031	268	15.2	
	う ち 職 員 給 与 費	386	369	352	350	357	8	2.2	
営 業 外 費 用	333	299	257	360	292	▲68	▲18.8		
う ち 支 払 利 息	296	271	241	227	228	1	0.3		
収 支 差 引 (A-B) C	363	630	627	656	627	▲29	▲4.5		
資 本 的 入 収 支	資 本 的 収 入 D	4,529	2,720	3,380	3,454	2,005	▲1,449	▲42.0	
	地 方 債	669	990	1,759	2,871	752	▲2,118	▲73.8	
	他 会 計 繰 入 金	2,318	561	471	455	465	10	2.2	
	工 事 負 担 金	1	0	0	0	0	0	—	
	国 ・ 県 補 助 金	1,405	1,167	1,151	128	787	659	514.8	
	そ の 他	136	2	0	0	0	0	—	
	資 本 的 支 出 E	4,247	3,795	4,198	2,268	4,456	2,188	96.5	
	建 設 改 良 費	2,838	2,291	3,208	1,246	3,484	2,239	179.7	
	地 方 債 償 還 金 e	1,187	1,471	979	1,020	957	▲62	▲6.1	
	そ の 他	222	32	11	3	14	12	461.7	
収 支 差 引 (D-E) F	282	▲1,074	▲818	1,186	▲2,451	▲3,637	—		
収 支 再 差 引 (C+F) G	645	▲445	▲191	1,842	▲1,825	▲3,667	—		
積 立 金 H	0	0	0	0	0	0	0.0		
前 年 度 か ら の 繰 越 金 I	14	659	215	24	1,865	1,842	7,814.6		
前 年 度 繰 上 充 用 金 J	0	0	0	0	0	0	—		
形 式 収 支 (G-H+I-J) K	659	235	24	1,866	41	▲1,825	▲97.8		
翌 年 度 に 繰 越 す べ き 財 源 L	657	209	15	1,861	34	▲1,828	▲98.2		
実 質 収 支 (K-L)	2	26	8	4	7	3	59.5		
う	黒 字	2	26	8	4	7	3	59.5	
ち	赤 字	0	0	0	0	0	0	—	
職 員 数	49	47	47	46	47	1	2.2		
収 益 的 収 支 比 率 A/(B+e)	73.9	75.5	87.8	88.4	89.9	1.5	—		